

3 番	西本 潤 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 「ヘルプマーク」の適正な利用について</p> <p>【質問趣旨】 「ヘルプマーク」は外観からはわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたものです。一方で、入手が簡単のため悪用されるケースも増加し問題となっており、定着に伴いかえって福祉に立ちほだかる「壁」を感じる人もいる。長寿社会となった今、多くの方が介護や見守りを必要とする時代に、誰もが障害者になりえることを見据え、「ヘルプマーク」を (次ページにつづく)</p>	<p>(1) 「ヘルプマーク」利用の現状について</p>	<p>① 「ヘルプマーク」は東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、平成29年に全国共通のマークとなり、広く普及し認知度の向上も期待されている中、全国的にも認知度も利用者も増加している。本市においての利用者数はどのような状況かまた、認知度についてはどう認識しているか伺う。</p> <p>② 外観では健康に見えても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが困難な方もあり、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがある方も多くいます。「ヘルプマーク」の利用は、こういった方にとって有効な手段であるため、「ヘルプマーク」をさらに多くの方に認知していただく必要があると考える。本市においては普及啓発のために、どのような取り組みが行われているか伺う。</p> <p>③ 「ヘルプマーク」を身に着けた方を見かけたら、電車やバスの中では、席を譲る、駅や商業施設で困っているようであれば声をかける、災害時などは、安全に避難するための支援を行う、などの配慮が望まれるが、一般の方の多くは、実際にどのように対応してよいかわからないのが現状である。このような方々に対して、どのように対応したらよいかを知っていただくことも必要不可欠であると考えますが、市としてどのように周知・啓蒙していくのか、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3番	西本 潤 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>適正に利用するにはどのような対策が必要かについての本市の対応を伺う。</p>	<p>(2) 「ヘルプマーク」の入手について</p>	<p>④ 積極的に普及啓発を行っていくことが必要である反面、「ヘルプマーク」利用者の犯罪被害が懸念される。皮肉なことに、「ヘルプマーク」を着けることによって、障害があることを知らせることになり、「犯罪被害に遭っても抵抗できません」と公言するような状態になってしまい、このためひったくりなどの盗難や、性暴力、などの被害が心配される。このような状況を避けるために、社会全体で「ヘルプマーク」の利用者を見守っていきけるような啓発活動も重要であると考えますが、本市の見解を伺う。</p> <p>① 本市において、「ヘルプマーク」は社会福祉課の窓口、やすらぎ会館で入手できるが、必要とされるより多くの方に利用していただくために、入手できる場所を病院や公民館、市の運営する施設などに広げるべきと考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>② 各配布場所で、直接受け取ることが難しい方に対して、より多くの方に利用していただくための配慮として、郵送で対応している自治体もある。本市では直接受け取ることが難しい人に対して、どのような対応をしているのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3番	西本 潤 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)「ヘルプマーク」の不適切な利用について	<p>③ 「ヘルプマーク」を受け取るには、自治体によっては障害者手帳、医師の診断書など提示を求める場合もあるが、本市では対応窓口に行けば障害者手帳、医師の診断書など提示することなく、だれでも簡単に入手することができるため、必要な方が手軽に入手できてよいのだが、一方で入手が簡単なため「ヘルプマーク」の必要のない健常者の不適切な利用が社会問題となっている。こういった状況について本市としては、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>① 近年、社会問題となっている「ヘルプマーク」の不適切な利用には、デザインが可愛いからファッションとして着ける、優先席に座れる、障害者になりすましさまざまな配慮が受けられるなど、「ヘルプマーク」の必要のない健常者による不適切な利用のほか、悪質なものでは、弱者のふりをして女性に近づいて痴漢行為を行っているケースもある。そのような背景には、「ヘルプマーク」がフリーマーケットサイトなどで転売されており、希望すれば配布場所にいくことで簡単に手に入れることができってしまう、などが原因としてあげられるが、このような状況を本市としてどのように捉えているのか伺う。</p> <p>② 上記のような不適切な利用が、「ヘルプマーク」の定着に伴い、本当に必要とする方にはかえって福祉に立ちほだかる「壁」に感じる方もいる。こういった状況を避けるために、本市においても配布の際に、障害者手帳、医師の診断書などの提示を求めるべきであると考えるが、不適切利用や取得に対する対策はどのような見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。